

セルフモニタリング報告書(令和 5 年度分)

令和6年4月30日

施 設 名 苦小牧市総合体育館
 指定管理者名 都市総合開発株式会社
 所 管 課 名 総合政策部 まちづくり推進室 スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画を基本に管理運営を行い、大きな事故やトラブルが起きることなく無事3年目の運営が出来ました。 管理委員会を年に4回実施し、業務内容の確認とともに管理運営方針等を協議いたしました。また、職員間の連絡体制はSNS（グループライン）を有効活用し、意思の統一を図っております。 利用者の立場に立った運営を心がけ、設備等の点検を徹底したことで安定した運営ができました。	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	一般開放時の貸し出し（ラケット等）の充実化やシャトル等を販売することにより手軽に運動できる環境を整えたほか、スケールメリットを活かした自主事業を展開したことで、利用者数、使用料収入共に前年を超える実績となりました。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	事業計画では16企画128回の実施としておりますが、単独で実施しているものから、定額受け放題のスタジオ講座、子供向けスポーツアカデミーを通じ概ね全てのジャンルを実施することができ、前年度を大幅に上回る実施回数となりました。	Ⓐ・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	利用調整では各競技団体のバランスを配慮しながら調整を行っております。市主催事業や車椅子バスケットの開放への協力、スポーツフェスティバルに参加した他、保健センターの委託業務を受託する等、スポーツの普及や健康促進に寄与してまいりました。	Ⓐ・B・C・D・E

2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	今年度の利用者アンケートでは「質問項目の平均」で「満足、やや満足」との回答が全体の97.1%、「職員の対応」の項目では99.4%と高い評価をいただいております。 現状に満足することなく今後も「快い対応」で全ての利用者が満足できる施設にしていきます。	㊤・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	施設ホームページにアンケートのページを設けるとともに、施設受付横には「ご意見箱」を設置しております。また、受付での口頭による意見・要望についても記録するなど、利用者からできるだけ多くの意見・要望をいただける体制を整えております。	㊤・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	意見・要望・苦情が寄せられた場合、全従業員に周知するとともに、管理運営委員会に報告し、その対応について協議しております。	㊤・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	水道光熱費の節約のため、必要のないものは削減し、使用可能なものは再利用するなど、経費削減に努力しております。また、施設の修繕や補修はできるだけ職員自らが作業に当たり、経費の節減に努めてきました。時間や労力を割く業務については、改善に向けた意見を出し合い、作業の効率化を図っております。	㊤・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	委託業者については、市内に事業所がある信用信頼ある企業を選定しております。委託費用についても、内容に合致する金額かどうかを精査し、適切な契約を結んでおります。	㊤・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	一般開放においては貸し出し種目(ラケット等)を充実させ、シャトル等の消耗品は販売し、利用しやすい環境を整えております。利用の少ない時間帯については専用利用団体の誘致活動に努めております。自主事業についてはスケールメリットを活かした事業として、プール施設と連携した成人向けのスタジオ講座、子ども向けのスポーツアカデミーを継続的に実施しております。	㊤・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
職員の能力向上に向けた取組は行われたか(研修等)。	OJT研修だけではなくOffJT研修も取り組んでおります。職員のスキルアップが利用者への還元になり得ることから、職員に向けた研修は重要視しております。 また、能力向上に向けた取り組みとして、インストラクターの資格試験に際し、有資格者による疑似研修を行う等、総合的に能力の高い職員の育成に努めています。	㊤・B・C・D・E

安全対策（事故防止等）は十分だったか。	消防訓練を実施している他、日常的なアリーナ床の点検、天井材の落下の有無、備品の配置状況の確認を行っております。また、救急用品の補充やアイシング用の氷を常備しており、事故防止に努めております。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	管理運営に支障の無い人員を配置し、適正な管理運営を行ったことで、大きな事故・トラブルが起こることなく運営することができました。 業務に関する情報は連絡ノートを作成し、全職員が共有できるよう徹底しております。	⓪・不適
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	子どもから高齢者、障がい者まですべての市民が安心して快適に施設利用できるように十分配慮しております。また、混雑時は譲り合って利用いただくよう館内放送で呼びかけるなど工夫しております。 使用料の減免・還付の取り扱いについては、市の要綱に基づき適切に処理しております。	⓪・不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	業務上知り得た情報は、個人情報保護の観点から一切施設外に持ち出さず、適正に保管されております。なお、業務終了後は適切に施錠され、警備体制も万全に整えております。また、不要な書類はシュレッダー処理により個人情報の漏洩を予防しております。	⓪・不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	収入及び支出については、項目ごとに適正に会計処理し計上しております。また、担当課が行う実地調査にも適正に対応しております。	⓪・不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検を含め設備の点検保守は、市内の専門業者に委託して適正に実施しております。また、改善すべき項目は速やかに修理等を行っております。	⓪・不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	業務上重要な書類は、鍵の掛かるキャビネットに保管するなど適正な管理を行っております。 備品については、引き継ぎを受けた備品一覧表を活用して適正に管理しております。また、購入や廃棄の手続きも適切に行っております。	⓪・不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	管理運営に際しては、体育館条例・規則・協定書等を遵守し、総合体育館としての役割を理解して管理運営に努め、適正な管理を行ってきました。	⓪・不適
５ 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	全職員が苫小牧在住者であり、地元の雇用を優先しております。また、資材調達や委託業者についても苫小牧の業者を優先して選定しております。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

[4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

指定管理者の自己評価(全体を通して)

事業計画書を基本に協定書や体育館条例・規則・要綱等を遵守した運営に努めてまいりました。新型コロナウイルス感染症対策も緩和され元の日常に戻りつつある一年となりました。老朽化に伴う修繕対応の他、今年の夏は例年にない暑さとなり熱中症対策にも苦慮しましたが、スポーツ都市推進課や関係機関と適切に連携できたことで、大きなトラブルや事故を起こすことなく管理運営する事ができました。

利用者を獲得するための取組として、プール施設と連携した成人スタジオ講座や子ども向けスポーツアカデミーは好評で他施設からの利用者も増え活性化に繋がったといえます。また、年配者向けの教室も通年開催しており、事業においては子どもから年配者までどなたでも参加が出来る事業を展開しております。また、スポーツフェスティバルへの出展や、新たに保健センターとのタイアップ事業にも積極的に参画することで、関係機関とのつながりを強化し、市民への健康づくりに寄与できたと自負しております。

施設の賑わいや発展は利用者の「楽しさ」や「生きがい」そして「豊かさ」につながると勝手ながら信じております。指定管理者として、施設の管理運営を通して地域や近隣住民の「元気」の一役を担っている事を理解し、ただ単に運動やスポーツのために行く場所ではなく、「元氣になれる場所」「笑顔になれる場所」としてより多くの市民が利用できる空間を創造し、過去に縛られることなく、明るい未来に向けた取り組みを積極的に提案していきたいと考えております。

セルフモニタリング報告書(令和 5 年度分)

令和6年4月30日

施 設 名 苦小牧市日吉体育館
 指定管理者名 都市総合開発株式会社
 所 管 課 名 総合政策部 まちづくり推進室 スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画を基本に管理運営を行い、大きな事故やトラブルが起きることなく無事3年目の運営が出来ました。 管理委員会を年に4回実施し、業務内容の確認とともに管理運営方針等を協議いたしました。また、職員間の連絡体制はSNS（グループライン）を有効活用し、意思の統一を図っております。 利用者の立場に立った運営を心がけ、設備等の点検を徹底したことで安定した運営ができました。	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	感染症等の影響による利用の取消し等もありましたが、前年度を超える実績となりました。感染予防対策を継続した運営を心がけ、貸出用具の拡大や体育館の開放種目の調整、自主事業・独自事業の積極的な開催等により幅広い世代に利用していただく取組が出来ました。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	一般利用者と専用利用者の増加と配慮に伴い、当初の計画通りに遂行することができませんでしたが、4事業を実施し、68名の参加がありました。継続を希望する声も上がっており、手応えを感じております。	Ⓐ・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	利用者のみならず、年間のスケジュール作成に係る利用調整を通じ、専用利用団体との意見交換を行っております。その他、職員がスポンジテニス協会に在籍するなど、多方面から様々な場面で連携ができるよう前向きに取り組んでおります。 日吉体育館は固定利用者が多く、地域住民にとって地域の貴重な施設として親しまれています。今後とも利用者と職員の良い関係を続き、相互理解を深める努力をまいります。	Ⓐ・B・C・D・E

2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	今年度の利用者アンケートでは、「質問項目の平均」で「やや満足」以上の回答が97.4%ととても高い評価を頂きました。また、「館内のわかりやすさ」、「職員の対応」の項目では100%をいただき、日頃から利用者の為に取り組んでいる「気持ちの良い挨拶」や「コロナ禍における職員の接客対応等」が評価されたものと自負しております。	㊤・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	施設ホームページにアンケートのページを設けるとともに、施設受付横には「ご意見箱」を設置しております。また、受付での口頭による意見・要望についても記録するなど、利用者からできるだけ多くの意見・要望をいただける体制を整えております。	㊤・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	意見・要望・苦情が寄せられた場合、全従業員に周知するとともに、管理運営委員会に報告し、その対応について協議しております。	㊤・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	経費の節減については、施設内の照明をこまめに消灯し、ボイラーも室温に応じてこまめに稼働させる努力をしております。多額の費用が掛かる重油購入については、小口扱い単価を交渉により、大口扱いの単価で契約し、大幅に経費を削減しました。また、施設の照明をLED化したことで今年度も消費電力を継続的に抑えることができました。	㊤・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	委託業者については、市内に事業所がある信用信頼ある企業を選定しております。委託費用についても、内容に合致する金額かどうかを精査し、適切な契約を結んでおります。	㊤・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	一般開放種目の変更やポスター掲示、専用利用団体等などに積極的に利用誘致をPRしております。 また、一般開放の道具の貸出品目を拡充する他、シャトルやピンポン玉の販売を開始。販売に際しては内容を精査し、利用者の負担が過多とならないよう料金設定をしております。	㊤・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	OJT研修を行うことで、職員のスキルアップが利用者への還元になり得ることから、職員に向けた研修は重要視しております。 また、インストラクターの能力向上に向けた取り組みとして、職員同士の実技研修の他、Zoomを使用した新規プログラムの体験会にも参加。総合的に能力の高い職員の育成に努めています。	㊤・B・C・D・E

安全対策（事故防止等）は十分だったか。	消防訓練を実施している他、アリーナの床を1日2回チェック、救急用品の補充やアイシング用の氷を常備しており、事故防止に努めております。 安心・安全に楽しく利用できる環境を創り上げるため、OJT研修等で職員の危機管理意識を高め、知識を深める指導を行い、事故発生時の行動を確認しています。	Ⓐ・B・C・D・E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	感染症対策により仕事量も増加しておりますが、管理運営に支障の無い人員を配置し、適正な管理運営を行ったことで、大きな事故・トラブルが起こることなく運営することができました。 業務に関する情報は連絡ノートを作成し、全職員が共有できるよう徹底しております。	㊦・不適
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	子どもから高齢者、障がい者まですべての市民が安心して快適に施設利用できるように十分配慮しております。また、混雑時は譲り合って利用いただくよう館内にて呼びかけるなど工夫しております。 使用料の減免・還付の取り扱いについては、市の要綱に基づき適切に処理しております。その他感染症対策等に伴う還付については、その都度担当課と協議しながら対応しております。	㊦・不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	業務上知り得た情報は、個人情報保護の観点から一切施設外に持ち出さず、適正に保管されております。なお、業務終了後は適切に施錠され、警備体制も万全に整えております。また、不要な書類はシュレッダー処理により個人情報の漏洩を予防しております。	㊦・不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	収入及び支出については、項目ごとに適正に会計処理し計上しております。また、担当課による実地調査に適正に対応しております。	㊦・不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検を含め設備の点検保守は、市内の専門業者に委託して適正に実施しております。 また、改善すべき項目は速やかに修理等を行っております。	㊦・不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	業務上重要な書類は、鍵の掛かるキャビネットに保管するなど適正な管理を行っております。 備品については、引き継ぎを受けた備品一覧表を活用して適正に管理しております。なお、備金の補修については、利用者に不便を掛けないように計画的に行っています。	㊦・不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	管理運営に際しては、体育館条例・規則・協定書などを遵守し、日吉体育館としての役割を理解して管理運営に努め、適正な管理を行ってきました。	㊦・不適

5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	全職員が苫小牧在住者であり、地元の雇用を優先しています。 資材調達や委託業者についても苫小牧の業者を優先して選定しています。	㊤・B・C・D・E

A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B: 目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。

C: 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

[4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

指定管理者の自己評価(全体を通して)

事業計画書を基本に協定書や体育館条例・規則・要綱等を遵守した運営に努めてまいりました。新型コロナウイルス感染症対策も緩和され元の日常に戻りつつある一年となりました。今年の夏は例年にない暑さとなり熱中症対策にも苦慮しましたが、スポーツ都市推進課や関係機関と適切に連携できたことで、大きなトラブルや事故を起こすことなく管理運営する事ができました。

日吉体育館は小規模な施設ではありますが、地域住民が多く利用しており地域に密着した施設だといえます。今年度におきましては、地域利用者のニーズを再考し一般開放時の種目の見直しや、専用利用団体への施設のPRと誘致活動等により、過去5ヵ年の中でも最高の利用者数と利用料金収入となりました。老朽化の著しい施設ではありますが、限られたスペースを最大限活用し、ロビーに有酸素バイクを設置。照明のLED化による施設環境整備、新規事業として貸出し用具を拡充し、手ぶらで来ても運動できる環境も整備しました。また、消耗の激しい物は販売し収入増加に向けた取り組みの展開も行っております。自主事業においても、小規模な施設あることを考慮し、一般利用者の妨げにならないように行い、子ども向けのスポーツアカデミー等を実施しております。更に、今後どのように発展させていくか挑戦し甲斐があるこの施設を「人が集い、交わり、楽しむ」場を創出し、市民や団体等の交流活動の拠点とするための展開を行っていきたいと考えております。

セルフモニタリング報告書(令和 5 年度分)

令和 6 年 4 月 30 日

施 設 名 苦小牧市川沿公園体育館

指定管理者名 都市総合開発株式会社

所 管 課 名 総合政策部 まちづくり推進室 スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画を基本に管理運営を行い、大きな事故やトラブルが起きることなく無事3年目の運営が出来ました。 管理委員会を年に4回実施し、業務内容の確認とともに管理運営方針等を協議いたしました。また、職員間の連絡体制はSNS（グループライン）を有効活用し、意思の統一を図っております。 利用者の立場に立った運営を心がけ、設備等の点検を徹底したことで安定した運営ができました。	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	新型コロナウイルス等の影響による利用の取消し等もありましたが、前年度を超える実績となりました。感染予防対策を継続した運営を心がけ、LINE 公式アカウントの作成や広告の利用により幅広く利用者を増加する取り組みが出来ました。その他、体育館の開放種目の調整や自主事業の積極的な開催等にも力を注ぎました。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	新型コロナウイルス等の影響を受けましたが、感染対策を行った上で計画的に開講致しました。年間を通して積極的に企画・立案し、1年間で9事業延べ402回の自主事業を実施しました。 今後も利用者のニーズに応えられるよう、新規教室の実施、教室内容の充実や見直しを行ってまいります。	Ⓐ・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	利用者のみならず、年間のスケジュール作成に係る利用調整を通じ、専用利用団体との意見交換を行っております。その他、職員がスポンジテニス協会やバドミントン協会に在籍するなど、多方面から様々な場面で連携ができるよう前向きに取り組んでおります。	Ⓐ・B・C・D・E

2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	今年度の利用者アンケートでは「質問項目の平均」で「満足、やや満足」との回答が全体の 96.4%。特によかった項目では、「職員の対応について」で前年度に続き 100%と最高の評価を頂いております。日頃から利用者の為に取り組んでいる「気持ちの良い挨拶」や「きめ細かい対応」が評価されたものだと自負しております。	㊤・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	施設ホームページにアンケートのページを設けるとともに、施設受付横には「ご意見箱」を設置しております。また、受付での口頭による意見・要望についても記録するなど、利用者からできるだけ多くの意見・要望をいただける体制を整えております。	㊤・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	意見・要望・苦情が寄せられた場合、全従業員に周知するとともに、管理運営委員会に報告し、その対応について協議しております。	㊤・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	多くの費用がかかる重油購入については、毎回 4 社からの見積りにより安価な料金で契約しています。施設の照明を LED 化したことで今年度も消費電力を継続的に抑えることができました。また、省エネにも積極的に取り組み、1 時間ごとの温度調査によるボイラーの運転調節や、その他、こまめな消点灯、蛍光灯を間引きなどの節電を行っています。	㊤・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	委託業者については、市内に事業所がある信用信頼ある企業を選定しております。委託費用についても、内容に合致する金額かどうかを精査し、適切な契約を結んでおります。	㊤・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	一般開放種目の変更やポスター掲示、専用利用団体等などに積極的に利用誘致を PR しております。 また、年配者向けの自主事業を積極的に開講することで、自主事業をきっかけに、その後も施設を利用頂けるような仕組みづくりも確立いたしました。	㊤・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	OJT 研修を行うことで、職員のスキルアップが利用者への還元になり得ることから、職員に向けた研修は重要視しております。 また、インストラクターの能力向上に向けた取り組みとして、職員同士の実技研修の他、Zoom を使用した新規プログラムの体験会にも参加。総合的に能力の高い職員の育成に努めています。	㊤・B・C・D・E

安全対策（事故防止等）は十分だったか。	消防訓練を実施している他、アリーナの床を1日2回チェックしていることや、救急用品の補充やアイシング用の氷を常備しており、事故防止に努めております。 安心・安全に楽しく利用できる環境を創り上げるため、OJT研修等での職員の危機管理意識を高め、知識を深める指導を行い、事故発生時の行動を確認しています。	Ⓐ・B・C・D・E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	感染症対策により仕事量も増加しておりますが、管理運営に支障の無い人員を配置し、適正な管理運営を行ったことで、大きな事故・トラブルが起こることなく運営することができました。 業務に関する情報は連絡ノートを作成し、全職員が共有できるよう徹底しております。	㊦・不適
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	子どもから高齢者、障がい者まですべての市民が安心して快適に施設利用できるように十分配慮しております。また、混雑時は譲り合って利用いただくよう館内で呼びかけるなど工夫しております。 使用料の減免・還付の取り扱いについては、市の要綱に基づき適切に処理しております。その他感染症対策等に伴う還付については、その都度担当課と協議しながら対応しております。	㊦・不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	業務上知り得た情報は、個人情報保護の観点から一切施設外に持ち出さず、適正に保管されております。なお、業務終了後は適切に施錠され、警備体制も万全に整えております。また、不要な書類はシュレッダー処理により個人情報の漏洩を予防しております。	㊦・不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	収入及び支出については、項目ごとに適正に会計処理し計上しております。また、担当課による実地調査に適正に対応しております。	㊦・不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検を含め設備の点検保守は、市内の専門業者に委託して適正に実施しております。 また、改善すべき項目は速やかに修理等を行っております。	㊦・不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	業務上重要な書類は、鍵の掛かるキャビネットに保管するなど適正な管理を行っております。 備品については、引き継ぎを受けた備品一覧表を活用して適正に管理しております。なお、備品の補修については、利用者に不便を掛けないように計画的に行っています。	㊦・不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	管理運営に際しては、体育館条例・規則・協定書などを遵守し、川沿公園体育館としての役割を理解して管理運営に努め、適正な管理を行ってきました。	㊦・不適

5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	全職員が苫小牧在住者であり、地元の雇用を優先しております。また、資材調達や委託業者についても苫小牧の業者を優先して選定しております。	Ⓐ・B・C・D・E

A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B: 目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。

C: 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

[4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

指定管理者の自己評価(全体を通して)

事業計画書を基本に協定書や体育館条例・規則・要綱等を遵守した運営に努めてまいりました。新型コロナウイルス感染症対策も緩和され元の日常に戻りつつある一年となりました。老朽化に伴う修繕対応の他、今年の夏は例年になく暑さとなり熱中症対策にも苦慮しましたが、スポーツ都市推進課や関係機関と適切に連携できたことで、大きなトラブルや事故を起こすことなく管理運営する事ができました。

指定管理者として、川沿公園体育館の開設目的である「地域住民の健康増進と青少年の健全育成」に寄与できるよう日々試行錯誤してまいりました。施設周辺は少子高齢化が年々進んでいるため、過去の常識にとらわれない柔軟な発想による、「新しい魅力」や「変化」が必要だと考えております。

スポーツの日にはフィットネス体験を開催し、通年開催している事業とは別なプログラムも展開し好評でした。また、通年行っております教室については、地域密着型の施設であることと、年配者の利用が多いことを考慮した教室を通年展開しております。なお、気軽にスポーツを楽しめるように、卓球のラケット等の無料の貸出しを継続し、有料ではありますが卓球の球等の販売により施設の環境整備を行っております。同じく照明のLED化に伴う施設の環境整備も行っており、利用者に対するサービスの向上と施設の環境整備の促進の両面の実現を行っております。保健センターとのタイアップ事業にも積極的に参画することで関係機関とのつながりを強化し、市民への健康づくりに寄与できたと自負しております。このような地道な活動を積極的に行うことが施設の最大活用につながっていくと考えているため、日々変化していく情勢に遅れをとらない運営を心がけ、さらに発展させることを目標に職員一丸となって邁進してまいります。